

小児用解熱剤
お子さまの
発熱に

アルピニーA坐剤

ALPINY-A SUPPOSITORY

◆こんなときに



熱があり、口から薬を受けつけない(吐きやすい時、薬がのめない時)

夜間の急な発熱に

お子さまのかかる病気のなかで、発熱は最も一般的な症状です。しかし、夜間の急な発熱など、お子さまの病気に突然気付くことも少なくありません。

アルピニーA坐剤は、そんなときの使用に適した、胃への負担が少ない、お子さまの熱を下げるお薬です。

なお、本剤を1回使用しても再度発熱した場合は、医師又は薬剤師に相談してください。

△使用上の注意

本剤は小児用ですが、解熱薬として定められた一般的な注意事項を記載しております。

⊗してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります。)

1. 次の人は使用しないでください

- (1)本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2)本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を使用してぜんそくを起こしたことがある人。

2. 本剤を使用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないでください

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬

3. 使用時は飲酒しないでください

4. 本剤の使用は1日1回とし、2日続けて使用しないでください

■相談すること

1. 次の人は使用前に医師又は薬剤師に相談してください

- (1)医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2)妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3)高齢者。
- (4)本人又は家族がアレルギー体質の人。
- (5)薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (6)次の診断を受けた人。 心臓病、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍

2. 次の場合は、直ちに使用を中止し、この説明書を持って医師又は薬剤師に相談してください

- (1)使用後、次の症状があらわれた場合。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振、便意
精神神経系	めまい

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
ショック(アナフィラキシー)	使用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群(スティーブンス・ジョンソン症候群)、中毒性表皮壊死症(ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)等があらわれる。
ぜんそく	

- (2)本剤を1回使用しても再度発熱した場合。

3.次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強がみられた場合には、使用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください

下痢、軟便

■ 効能・効果

小児の発熱時の一時的な解熱

■ 用法・用量

次の1回量を1日1回、肛門内に挿入します。

年齢	6才～12才	3才～5才	1才～2才	1才未満
1回量	1～2個	1個	1/2～1個	使用しないこと

■ 坐剤の取り出し方と使い方

坐剤はお尻に入れるお薬です。なるべく排便後に使用してください。

<p>①</p>  <p>1個分をミシン目にそって切り離し、上端の合わせ目を左右に裂いて坐剤を取り出してください。</p>	<p>②</p>  <p>人差し指を坐剤の底にあて、肛門内に挿入してください。</p>	<p>③</p>  <p>1/2個を使用する場合は、図のようにカッター等でななめに切って使用してください。</p>
---	--	---

<用法・用量に関連する注意>

- (1)用法・用量を厳守してください。
- (2)小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。
- (3)本剤が軟らかい場合には、しばらく冷やした後に使用してください。また、硬すぎる場合には、軟らかくなった後に使用してください。万一、坐剤が溶けたり、軟らかくなりすぎた場合には、コンテナのまま、お湯(約45℃)に入れて溶かし、図のように坐剤の先端を下向きにして水につけ、しばらく放置すると形が整い固まります。
- (4)肛門にのみ使用してください。



■ 成分 1個(1.2g)中

アセトアミノフェン……………100mg
添加物としてハードファットを含有します。

■ 保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない30℃以下の涼しい所に坐剤の先端が下向きになるように立てて保管してください。(溶ける温度約35℃)

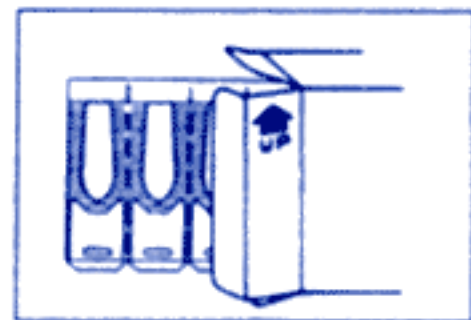
◆マークについて

外箱についている◆マークは、好ましい保管状態を示しています。

このように坐剤の先端が常に下向きになるように保管しておくと、万一、坐剤が溶けたり軟らかくなった場合にも、坐剤の変形を防ぎます。

○開封後、コンテナを再び外箱に入れるときには、坐剤の先端が下向きになるようにして入れてください。

- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れかえないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります。)
- (4)使用期限をすぎたものは使用しないでください。



■ お問い合わせ先

お買い求めのお店、又はお客様相談室にお問い合わせください。

エスエス製薬株式会社 お客様相談室

フリーダイヤル ☎ 0120-028-193

受付時間：9時から17時30分まで(土、日、祝日を除く)

製造販売元



エスエス製薬株式会社

〒103-8481 東京都中央区日本橋浜町2-12-4

<http://www.ssp.co.jp/>